



学びと人とつながる三学期に

一月八日(水)に、三学期が始まりました。この日を入れて、子供たちが鏡西部小学校に通うのは、五十三日(六年生は五十二日)です。本校最後の三学期を迎えるにあたり、始業式で次のことを伝えました。

自分の力をのばそう①

「わかる」「できる」をもってほしいこと。意欲は、学習を含めて子供を動かす原動力になります。「〇〇ができるようになりたい」とか「△△さんのようになりたい」といった自分の目標や憧れをもって取り組んでほしいと考えています。

自分の力をのばそう①

「わかる」「できる」
ように
なり

自分の力をのばそう②

だれかの
やく た
役に立ち

自分の力をのばそう②
誰かの役に立ちたい
自分の力をのばそう②
誰かの役に立ちたい

を持ってほしいこと。子供たちに、「誰かって、誰?」と尋ねたところ、友達や先生、家族との声が返ってきました。身近な誰かのために、何かお役に立てることはないかなと考えて行動したとき、「ありがとう」とか「助かったよ」と言ってもらえるとなんだか嬉しい気持ちになります。人の役に立つという経験は、自分のよさに気づくきっかけにもなります。

子供たちに、「一匹の「たい」が生まれるように、そして、すべての子供たちが不安なく鏡小学校、鏡中学校に進級・進学できるように私たち職員も全力で頑張ります。

しめ縄にこめられた思い

年末に、学校の玄関にしめ縄が飾られています。後日、地域の方が手作りのしめ縄をわざわざ飾りに来てくださったことが分かりました。そこで始業式で、

「みんなに良い年を迎えて欲しいという気持ちが入められているのではなにか」「みなさんは、こんなに地域から大切にされているよ」としめ縄にこめられた思いを子供たちに伝えました。



最後のもちつき大会

二学期の終業式の日、最後の親子もちつき大会を行いました。家庭で餅を作られるところでも、杵と臼を使って餅をつかれるところはほとんど見かけなくなりました。それだけに、子供たちは朝から餅つきをとっても楽しみにしていました。あいにくの天気でしたが、自分がつく順番が回ってくるのを笑顔で待っていました。もちろん、食べる方も楽しみにしていたようで、周りが心配するくらい食べた子供もいたようです。

思いに残る楽しい餅つき大会ができたのも、保護者の皆さんの事前の準備と当日朝早くからの準備のおかげです。来校されたお客様が「今も続いているんですね。」と懐かしそうにおっしゃっていました。

子供たちへの愛情に支えられてきた親子餅つき大会でした。

